

# 青年教職員のエネルギーに 圧倒された集会



## —職場活動の活性化、組織の拡大・強化をめざす全国交流集会—



発行  
〒850-0013 長崎市川中2丁目2番5号  
長崎高教組会館  
長崎高等専門学校教職員組合  
☎ (095)-827-5882  
FAX (095)-826-2976  
編集責任者 小田 誠  
購読料 一部10円  
組合員は組合費に含む  
メールアドレス  
naga-kks@fsinet.or.jp

9月26日27日の両日、東京で標記の全国交流集会が開催され、全国から約200人が集まり、長崎高教組から2人参加しました。

### 教職員の二つの要求

蟹澤昭三全教中央執行委員長は、あいさつで、労働組合の起源がイギリスのパブ(居酒屋兼コミュニティハウス)にあり、1日14時間から15時間働いていた労働者たちがパブに集まり、ビールを片手に仕事のことや賃金などについて話し合っていた中、最低賃金や労働時間についての取り決めをしたことを紹介し、要求を出しあい、まとめることの大切さを述べました。そして、人間らしく働ける労働条件を実現することと子どもにかかわる実践力を高めることが、教職員の二つの基本的な要求であると指摘しました。

### みんなの力で「3か年計画」成功に

吹上政子全教中央執行委員長、組織・情宣局長が基調報告を行いました。基調報告の要旨は次のとおりです。  
「子どもと教育に夢と希望を」「仲間を増やして未来を拓こう」とすべての組合員に呼びかけ全教の「組織建設3か年計画」の1年目がスタートしました。「3か年計画」の目標は、3年かけて全教の組織を増強することです。「組織建設」とは、なかまを増やすこととともになかまのつながりを強め深めること、そして全教運動を大きく前進させることです。

みんなの力で「3か年計画」を成功させるために、3点提起します。まず1点目は、「3か年計画」で学校に笑顔をあふれさせることです。そのため、「教育の希望を上げ、子どもと教育を守る」「働きやすい職場をつくり、教職員を大切にすることを」「憲法を守りいかにすとりくみをすべての職場から」「民主教育も組合活動も次世代にしっかりバトンリレー」を合い言葉にとりくみをすすめます。

2点目は、組合の存在意義について再確認することです。「つながりたい」「要求にこたえる全教」として、「見える職場活動」をすすめるよう。「学びたい」要求にこたえる全教として、職場を基礎に

した教職員の「学び」を大切にしよう。「集まること、そのものがたたい」という教職員の現場の実態のなかで、「集いあい促進費」をおおいにいかそう。「あなたをひとりにはしない」全教共済を拡大の切り口に、自主共済の優位性をひろげよう。

3点目は「一人でもできる 一人からはじまる」「3か年計画」をわたしにもできる わたしからはじまる「3か年計画」をすすめます。そのために、増やすととりくみをすすめます。そのために、拡大のとおりくみの出発点は対話、対話の出発点は要求であると確認し、「つながり」「学び」そして、「仲間になるう」の声をかけましょう。「バトンゾーン」は広く、長く」と意識してバトンをつなぐととりくみをすすめるよう。

### 4単組から特別報告

全教千葉は、「3か年計画」と組合員のつながりを深めるとりくみ」として、支部の「歓迎会」「BBQ」、「つながり」忘年会ならぬ「望年会」、「スキーツアー」、「新春のつどい」、「支部学習会」、「あいのりツアー」などのとりくみを報告しました。福島高教組は、二つの組合、ひとり分会が半分、専従なしの福島県立高教組の挑戦」として、本部に「組織部」を確立し、支部に「組織部」担当を決め、「組織部ニュース」を定期的に発行し、県執行委員会で毎回進行状況を確認すること、メール体制の確立、青年部の再建、分会訪問などのとりくみを報告しました。

大教組は、「1000人拡大」実現に向けたとりくみ」として、春休み中17カ所で開催した「学級開き講座」を中心とする新歓行事(550人の参加で、55人加入)、青年教職員の「つながり」を、「学びたい」、「知りたい」欲求を全面的にとりいれた「青年フェスタ」、退職者の「拡大特命係」による職場訪問と未組合員との懇談などのとりくみを報告しました。都教組栄養職員部は、「次の世代に組合のバトンを引き継ぐために横のつながりを大切に」として、未組合員も参加する年4回の「学習会」「交流会」などのとりくみを報告しました。

### 分散会1・懇談会・分散会2

一日目最後の分散会は、まず24人の参加者が自己紹介と組合に加入した動機を語りました。年配の先生方は組合に入ることが普通だったという発言が多かったのに対し、若い先生方は、「歓迎会に感激して」「職場環境が厳しく、話し合える人がほしい」「仲間をつくらうよ」という呼びかけで、「時間講師の時に組合の先生が何かとお世話をしてくれて」「新採で不安だった時、勉強会に誘われて」「講師の時締めつけの

厳しい学校だったが、新任校は組合員がよく動いていて風通しがよかったので」「新任の時業務できつ、自分に能力がないと悩んでいたが、組合の先生が自分の失敗談などを交えて激励してくれた」などの加入動機を語ってくれました。

埼玉高教組が「組織の強化・拡大はつながりを深めることから」としてリード発言がされました。高教は10年以上毎週拡大を継続してきて、9月について60週連続を達成することが紹介されました。その要因として、分会、支部、専門部、本部が一体となって毎週拡大を追求すること、「あと一歩」の対象者をつかんでたえず対話すること、対話に立ち上がる組合員を増やすことの大切さが強調されました。そのほかにも、執行部のスタンスとして「構えは大きく」：すべての教職員、すべての新任者、すべての臨任者が対象、「ハードルは低く」：対話グッズをわたすだけでもOK!、「提起は具体的に」：対象者ごとの対話グッズを用意することを意識してとりくんでいること、そしてがんばれば「手が届く」目標を設定することの大切さが紹介されました。また、分会会議、学習会、しゃべり場、Oカフエ、飲み会、昼食会、ハイキング、スポーツ大会、映画のつどい等々、分会・支部・専門部で「つどい合い・語り合い」の場を意図的につくり、補助金を出し、夏までに300回を超える「つどい合い・語り合い」を実現させたこと報告されました。

夜は、全教会館で懇親会が開かれました。どのブロックも若い先生方を中心に積極的な交流が行われ、楽しい夜となりました。

二日目の分散会では、高知県教組の臨採の先生が「めざ学」でつながるひろがる」としてリード発言がされました。研修等で多忙を極める中で採用試験の勉強で臨時教員は厳しい状況におかれ、子どもたちとじっくり向き合う時間がなく、教師として子どもたちから学ぶという最も大切なことに時間を割けない現状、競争や管理にもとづいた教育観を採用になる前から研修等で植え付けられている現状が指摘されました。多くの若い教職員が疑問を持つことなく、かつ多忙による思考停止状態になっているなかで、疑問を持つことから「民主的な社会の形成者」という目標を掲げて、教員採用試験学習会の「めざ学」を地域ごと若い教職員の主導で行い、「一緒にやっつけよう!」という声かけを行っているという報告がありました。

二日間の交流集会で、若い人たちの中に大きな動きが出てきていることを実感しました。長崎でも出来ること、しなければならぬことがたくさんあることをあらためて考えさせられました。

「長崎高教組組織建設3か年計画」を支部で、分会で、そして一人ひとりが主体となって実現しよう

「長崎高教組組織建設3か年計画」を3月末の全県分会長・支部代表者会で提示し、6月の定期大会で採択しました。4月は動きが見えました。新任の加入、青年教職員の加入も実現しました。半年経った今、「3か年計画」の浸透にやや陰りが見えています。あらためて長崎高教組の存在意義を再確認し、すべての組合員が、すべての未組合員に「声かけ」「対話」を行うこと、特に新採用者、臨時採用者、若手教職員には総当たりを確実に行うことを確認しましょう。特別支援学校の教職員へのアプローチを確実に行うことを確認しましょう。秋の教研や人事、賃金確定交渉などを紹介しながら、未組合員の要求に沿って「声かけ」をおこない、「対話」を重ね、組合加入を実現しましょう。全国のとおりくみに学び、組織の拡大・強化に邁進しよう。

要求 権利 平等 進しよ 雇用 平等 団結



### 人事異動方針に関する県教委交渉

高教組速報で既報のとおり、高教組は9月16日、人事異動基本方針等についての県教委交渉を行いました。県教委は、全体として、これまでと同様の方針で人事作業をすすめることを回答するとともに、いくつかの事項については高教組の要求を受け入れ、あるいは理解を示しました。速報でお伝えできなかった部分の概要は次のとおりです。

#### ○同一校の勤続年数について

【要求内容】人によって同一校勤続年数に大きな差が出ないよう、標準の勤続年数を明確にすること。

【回答】標準を示すことは考えていない。これまでどおり、異動対象の勤続年数を示すことに対応したい。

【回答】標準を示すことは考えていない。これまでどおり、異動対象の勤続年数を示すことに対応したい。

【回答】標準を示すことは考えていない。これまでどおり、異動対象の勤続年数を示すことに対応したい。

【要求内容】新規採用教職員の異動については、本人がそれぞれの地区の勤務が「満了」になる年数まで勤続することを希望する場合、最大限、その意向を尊重すること。

【回答】満了の意志があればできるだけ意向は尊重したいと思ってい

【要求内容】新規採用教職員の異動については、本人がそれぞれの地区の勤務が「満了」になる年数まで勤続することを希望する場合、最大限、その意向を尊重すること。

【回答】満了の意志があればできるだけ意向は尊重したいと思ってい

#### ○その他の主な要求について

【要求内容】高校の基本方針については、6地区(勤務すべき地区は4地区)制ではなく、「都市部」「周辺部及び定時制夜間」「離島部」の3地区に区分し、3地区とも勤務することを原則とするように見直すこと。

【回答】基本方針を昨年改定したばかりなので、3地区制というのは考えていない。

【要求内容】内示の時期を遅くとも3月15日までに設定すること。また、離島と本土間の異動に関しては、できるだけ早い時期に本人へ異動の有無だけは明らかにすること。

【回答】意見として十分に伺っておくが、県職員全体にかかわること。「本土」「しま地区」にかかわらず、現状と同じ日程で動くことになると思う。

【要求内容】本人の希望と異なる異動になった場合は、内示の際に、その理由などについて本人に説明すること。

【要求内容】本人の希望と異なる異動になった場合は、内示の際に、その理由などについて本人に説明すること。

【回答】このことについては、本当に生徒たちに迷惑をかけたことを申し訳なく思っている。以後ないように、きちんと努力していきたい。生徒減や学級減など長期的な状況を勘案しながら考えていきたい。

### 現場の教職員の声を県教委に突きつけよう!

高教組は、10月下旬から始まる賃金確定交渉に向けて、人事評価の賃金リンクと対県要求についてのアンケートにとりくんでいます。

人事評価の賃金リンクについて県教委は、「当面、保留」の方針を示しながらも、「他県や知事部局の状況を見ながら判断することとして、近い将来の導入の可能性を否定していません。また、人事委員会も職員が納得しなければ何のめにもならない制度と述べながらも、賃金リンクの対象職種を拡大を促す方針は変えていません。」

「賃金リンク」と対県要求アンケート活動

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

### 現場の教職員の声を県教委に突きつけよう!

教育をゆがめ、子どもたちの成長に悪影響を及ぼす。人間にとって大事なものは競争より団結。しかし、この制度は団結を破壊し、競争へと教職員と生徒を向かわせるもの。」

「教職員は様々な役割によって子どもの成長を促しているから、『誰かの何か』のみで現場が成り立っているわけではない。」

「一生懸命がんばろうとする人よりも逆に落ちたってしまう人の方が多くなる。チームワークにマイナスになることは確か。へたをすれば、職場が堅苦しくなり、行事等はうまくいかななくなると思う。」

「管理職の目が教職員の業務全てに届いている訳ではない。教職員の業務は、授業、部活、校務分掌、HRや面談、相談、教室でのコミュニケーションなど幅広く

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

「教育現場で行われていることは、全ての教職員で一丸となつてやっています。また、代表的な意見をいくつか紹介いたします。」

### 気持ちよく走ることができました



嬉野SPAリレーマラソン2015

9月27日嬉野市総合運動公園で開催された上記のリレーマラソンに、県下から集まった11人で「全教共済長崎」チームを結成し参加しました。タイムは3時間23分6秒でしたが、昨年より大幅ダウンで、天気も良く、気持ちよく走ることができました。

来年は2チームの出場をめざします。

### 長崎高教組選抜チーム 初優勝!



全教 中四九ブロック ソフトボール大会

組選抜チームがまさかの優勝を果たしました。夜の交流会は各県の凝った出し物で、大いに盛りあげられました。最後は福山雅治さんの「クスノキ」を全員で合唱してみんなが心を一つにしました。

N-DOVEからのお知らせ

10/12 17:00-18:00

本堂に止める

10月12日 午後5時 鉄橋

「戦争法案」は可決されましたが、実行させないため、声をあげていきましよう。

本堂に止める